

因幡の古墳

因幡地域では

鳥取県東部にあたる因幡地域では、千代川下流域の鳥取平野を中心とする平野部を望む丘陵上に、約2,000基以上の古墳が造られます。出現期の古墳の様相は、明らかになっていませんが、中国製の鏡を副葬した湖山池周辺の桂見2号墳(方墳:28m)が因幡最古の古墳とされています。また、最初の方後円墳は鳥取市の本高14号墳(63m)で、同じ日本海沿岸の北陸地方と同時期に前方後円墳が造られるはじめます。

前期末になると因幡地域最大級、全長90mを測る前方後円墳・古郡家1号墳が千代川右岸に出現し、因幡全域を支配する首長が現れたと考えられます。その後、全長67mの前方後方墳・古海36号墳、前方後円墳では里仁29号墳(81m)、柵間1号墳(92m)など、千代川左岸・湖山池周辺に大規模な前方後円墳が次々と造営され、千代川右岸の古墳を規模の上では圧倒していきます。中期から後期になると、千代川中流域の八東川・私都川が合流する国中平野、因幡西部(旧気高郡)の河内川、勝部・日置川流域、因幡東部の海岸砂丘から但馬方面に抜ける蒲生川流域にも中・小規模な前方後円(方)墳を中心とする古墳群が造営されるようになります。一方、千代川上流域の山間部では前方後円墳はみられず、小規模な古墳しか造られません。

因幡東部では後期古墳の埋葬施設である横穴式石室に、巨石を用いて玄室天井の中央を高く構築する中高式天井が広く採用されます。その中には魚・船・鳥・人物等を描いた線刻壁画が描かれることがあり、この地域の特徴ともなっています。また7世紀に入ると、多角形墳の梶山古墳や、仏教思想の普及をうかがわせる鴟尾付陶棺が納められた蔵見3号墳などの終末期古墳も造営されますが、やがて律令体制下の因幡国として、古代地方行政に組み込まれていく中で、古墳は造られなくなっていきました。



桂見2号墳に副葬された中国鏡
鳥取市福部町の蔵見3号墳から出土した蓋に鴟尾を飾る陶棺(県指定保護文化)

時期	因幡
前(四世紀)	桂見2号墳 本高14号墳
中(五世紀)	六部山3号墳 古郡家1号墳
後(六世紀)	柵間1号墳 布勢古墳
終末期(7世紀)	梶山古墳

倉吉博物館



野口1号墳出土須恵器(重要文化財)

桜やツツジの名所として親しまれている打吹公園のそばにあり、倉吉市内から出土した貴重な出土品が体系的に展示されています。



倉吉駅からバス市線西倉吉行き10分、赤瓦・白壁土蔵下車、徒歩8分。

大法3号墳

移築された竪穴系横穴式石室

加勢蛇川の右岸の丘陵にある円墳(直径13m)。昭和53年に発掘調査が行われ、現在は、横穴式石室が移築復元されています。石室は、九州の影響を受けた竪穴系横口式石室と呼ばれるもので、縦長の羨道と玄室が仕切石で分けられ、玄室の床は一段低く造られています。



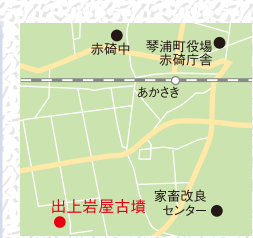
JR浦安駅から車で10分



出上岩屋古墳

出雲や西伯耆との関係を示す石室

墳丘は失われており、切石を用いた横穴式石室が露出しています。石室は複室構造で、羨道はありません。側壁には加工痕がよく残っています。玄門は1枚岩をくり抜いたもので、県西部に類例の多いタイプです。出土した須恵器から6世紀頃の築造と考えられます。
※個人宅内にありますので、見学を御希望の際は事前に琴浦町教育委員会(0858-52-1161)にお問い合わせください。



JR赤碕駅から徒歩20分



県指定

かじやまこふん

梶山古墳 ◆伊福吉部氏の奥津城・彩色壁画古墳

国指定

鳥取市国府町岡益梶山上ほか



昭和53年の彩色壁画の発見で広く知られた終末期古墳です。南北13m、東西16mの多角形(変形八角形)の墳丘前面には、石積の方形壇を備えており、凝灰岩で造られた切石造りの石室は、因幡地域の特有の中高式天井となっています。壁画は玄室奥壁にあり、最上段に竜文と同心円文が、中段に魚、下段に円文が赤黄色の顔料で描かれています。7世紀前半から中頃に築造されたと考えられるこの古墳は、後に国府が置かれた古代法美郡の有力氏族である伊福吉部氏の首長墓と推定されており、被葬者として「伊福吉部氏系図」にみる第25代久遅良臣か、第26代都牟自臣が候補に挙がっています。

ここに注目!

石室内は毎秋季不定期公開 JR鳥取駅から岡益橋バス停・徒歩15分 駐車場あり(無料)



もとだか14ごうこふん

本高14号墳 ◆山陰最古の前方後円墳

鳥取市本高



平成21年度、山陰道整備に伴う発掘調査によって発見された古墳です。発掘調査の結果、全長63m、鳥取県でも6番目の規模を誇る大型前方後円墳であること、埋葬施設からみつかった土器などの特徴から、築造時期は4世紀後半(古墳時代前期後半)であり、山陰地方で最も古い前方後円墳であることが分かりました。

当初はこの場所に道路が造られる計画でしたが、山陰地方での前方後円墳が導入される様子を示す古墳として重要であることから、現地保存が決定されました。

現在、古墳墳丘上には登ることはできませんが、国道29号周辺からかつての威容を仰ぎ見ることができます。

JR鳥取駅から山ヶ鼻バス停・徒歩11分

ここおげ1ごうこふん

古郡家1号墳 ◆豊富な副葬品に囲まれた因幡の首長墓

鳥取市古郡家

鳥取平野南部にある、因幡地域最大級の規模を誇る全長90mの前方後円墳。後円部から粘土槨、その両側に2基の箱式石棺が発掘されています。粘土槨からは奈良県新沢千塚500号墳以外に出土例のないハツ手葉形青銅品や勾玉・管玉、石棺からは人骨とともに鏡・漆塗櫛、鉄製武器・工具類と鉄製革綴短甲(鎧)といった多彩な副葬品が出土しています。また墳丘からは家・盾型埴輪と円筒埴輪が見つかります。前期末に築造された古墳と考えられ、眼下の鳥取平野を支配し、大和政権とつながりを持った因幡の王の墓と考えられています。(出土品は県立博物館展示)



短甲



ハツ手葉形青銅品



新鳥取県史編さん事業による再測量

そらやまこふんぐん

ぼうがづかこふん

空山古墳群・坊ヶ塚古墳 ◆暗闇に描かれた線刻壁画群

県指定

鳥取市末久空山ほか・鳥取市広岡西矢谷

鳥取平野南部丘陵の空山、広岡古墳群には、横穴式石室内に線刻壁画を描いた小規模な後期古墳(円墳)が知られています。壁画には弓を引く武人や船・鳥などの具象的な構図と、綾杉文・木葉文などの抽象的な文様が描かれているものがあります。



弓を引く武人(坊ヶ塚古墳)



坊ヶ塚古墳



空山15号墳



JR鳥取駅よりバス20分、広岡口下車、徒歩20分

ふせこふん
◆**布勢古墳**◆ 湖面を眺める前方後円墳
鳥取市布勢

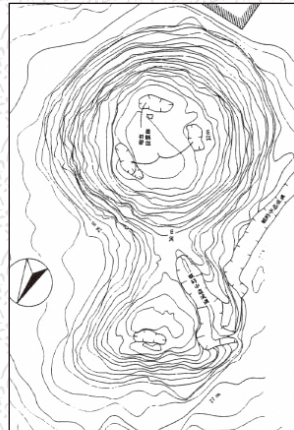
湖山池東岸の日吉神社裏山にあり、因幡地域で5番目の全長59mを測る前方後円墳。埴輪・須恵器が出土しており、中期末から後期初めに築造されたと考えられます。



JR鳥取大学前より徒歩15分

おおくまだん 1ごうふん
◆**大熊段1号墳**◆ 大学構内に残る前方後円墳
鳥取市湖山町南

鳥取大学の敷地となっている濃山台地にあった古墳群の盟主墳。前長50mの前方後円墳で、前方部の幅が広がるのが特徴。円筒埴輪が出土しており、後期古墳と考えられます。

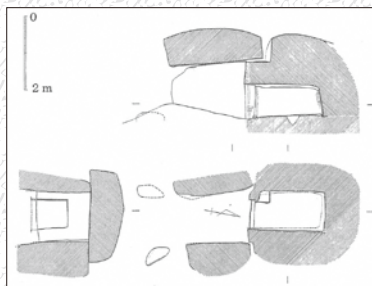


JR鳥取大学前より徒歩5分

やまがはな こふん
◆**山ヶ鼻古墳**◆ 畿内とも共通する精美な横穴式石室
鳥取市古海釜ヶ谷

千代川左岸の丘陵上にある古海古墳群中の終末期古墳。墳丘が失われており、加工した凝灰岩の巨石を組み合わせた石室が完全に露出しています。玄室は一石を刳り抜いて造った天井と壁を床石の上に置いたもので、畿内の横穴式石室を思わせる特殊な構造をとっているのが特徴。精緻な切石加工と特殊な構造などから終末期(7世紀)の古墳と考えられます。

※見学を御希望の際は事前に鳥取市教育委員会文化財課(0857-20-3367)へお問い合わせください。



JR鳥取駅より車で10分、徒歩15分

凝灰岩の巨石を刳り貫いた加工は見事で、当時の最高水準の石室構築技術が窺える。

たかのざか こふんぐん
◆**高野坂古墳群**◆ 駿馬にまたがる古代豪族の墓
岩美町岩常

因幡北東部、岩美町小田川中流域の丘陵中腹から山裾に展開する後期古墳群。見事な加工を施した家型石棺を安置した横穴式石室(2号墳)が古くから知られていました。

発掘調査が行われた10号墳は一边12mの方墳で、横穴式石室内に家型石棺が完全に残っているのが発見されました。現在、石棺は隣接地に復元された墳丘・石室内に移築されています。石室内からは、吊り下げ部に忍冬文を飾った青銅製壺・鍔(馬具)など、多彩な副葬品が出土しています。



岩美町の家形石棺は出雲の家形石棺と異なり横口がなく、畿内のものに近いのが特徴です。

JR岩美駅から車で10分

おばたけこふんぐん あなかんのこふん
◆**小畑古墳群・穴観音古墳**◆ 移築された巨石古墳と家形石棺
岩美町大谷

鳥取市から岩美町に抜ける驛馳山峠の山裾にある後期古墳群で、大型の横穴式石室を内蔵しています。このうち、穴観音古墳は全長11.3mを測る因幡地域最大級の横穴式石室で、巨石を用いて玄室中央の天井を高く積む中高式天井石室として知られています。

発掘調査された5号墳は鳥取市の布勢運動公園、3号墳石室と家型石棺は穴観音古墳の近くにある古墳公園に移築され、常時公開されています。



5号墳(鳥取市・布勢運動公園)

JR大谷駅から徒歩15分

かくま1ごふん
◆**桧間1号墳**◆ 因幡地域最大の前方後円墳
鳥取市大桧

千代川左岸、因幡地域最大規模の前方後円墳(全長92m)。埴輪と葺石を持ち、中期古墳と考えられます。



JR鳥取駅から車で10分
隣接する里仁古墳群出土の埴輪棺

さぎやま 1ごふん
◆**鷺山古墳**◆ サケ?を描いた線刻壁画
鳥取市国府町町屋鷺山

袋川流域、稲葉山中腹にある線刻壁画古墳。奥壁に梶山古墳と共通する魚、側壁には船・鳥が描かれています。



JR鳥取駅から車で10分
徒歩15分

とみざわ 1ごふん
◆**富沢古墳**◆ 山あい築かれた横穴式石室
智頭町新見

千代川上流部の支流・新見川沿いにある径13mの円墳。開口している全長6.6mの横穴式石室は、保存状態が良好で、中高式天井とは異なる片袖式平天井の石室です。7世紀前半の築造と考えられます。



JR智頭駅から車で10分

◆**鳥取県立博物館**◆



県内の古墳から出土した遺物などを展示する総合博物館。

JR鳥取駅からバス5分 徒歩5分

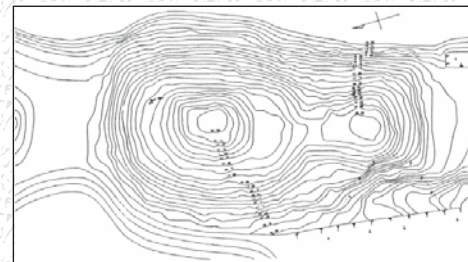
入館料：大人180円 開館時間：午前9時～午後5時
休館：月曜日及び国民の祝日の翌日 お問い合わせ：0857-26-8042

おすすめ見学コース

- 鷺山古墳 徒歩10分 車5分
- 陵墓参考地・岡益の石堂 徒歩10分 車5分
- 梶山古墳・彩色壁画 徒歩10分 車5分
- 新井の石舟古墳 徒歩10分

にしやま 1ごふん
◆**西山1号墳**◆ 河内川流域最大の前方後方墳
鳥取市気高町下坂本

古代気多郡(旧気高郡)最大の古墳で、墳丘の保存状態が良好な全長47mの前方後方墳。埴輪や埋葬施設は明らかではありませんが、中期に築造され、河内川流域を支配した首長墓と考えられます。



JR浜村駅下車徒歩20分

だけ 1ごふん
◆**嶽古墳**◆ 神話に彩られた国中平野最大の前方後円墳
鳥取市河原町曳田

「古事記」に登場する八上比売を祭る売沼神社対岸の丘陵上にあり、千代川中・上流域で最大の全長50mを測る前方後円墳。埴輪や埋葬施設などは知られていませんが、中期から後期前半に築造され、眼下の国中平野を支配した首長の墓と考えられます。



JR河原駅下車から車で10分



あこやま 22ごふん
◆**阿古山22号墳**◆ 巨大な一枚石を組み上げた石室
鳥取市青谷町青谷横木

日置川右岸の山裾に露出する大型の東伯耆型横穴式石室。側壁と天井石に船や星状の線刻壁画が描かれています。



JR青谷駅下車徒歩15分

てらやま 1ごふん
◆**寺山古墳**◆ 横穴式石室に葬られた首長の一族
八頭町寺山

全長37.5mの前方後円墳。片袖式の横穴式石室が開口しており、かつて直刀・金銅製鐙などが出土したと伝えられています。



JR郡家駅より徒歩15分、郡家警察署裏山